

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年12月1日

【評価実施概要】

事業所番号	4271401632		
法人名	有限会社グループホーム こすもす		
事業所名	グループホーム こすもす		
所在地	〒859-2112 長崎県南島原市布津町丙782番地1 (電話)0957-72-7136		
評価機関名	特定非営利活動法人 ローカルネット日本福祉医療評価支援機構		
所在地	〒855-0801 長崎県島原市高島2丁目7217島原諸侯会議所1F		
訪問調査日	平成19年11月15日	評価確定日	平成20年1月10日

【情報提供票より】(H19年10月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成	15年	6月	20日			
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	8	人			
職員数	6人	常勤	6人	非常勤	人	常勤換算	3.4人

(2) 建物概要

建物構造	木造り
	2階建ての階 ~ 1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	0 円	その他の経費(月額)	円	
敷金	有(円)	(無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり	400	円	

(4) 利用者の概要(10月1日現在)

利用者人数	8名	男性	4名	女性	4名	
要介護1	0名	要介護2	2名			
要介護3	5名	要介護4	1名			
要介護5	0名	要支援2	0名			
年齢	平均	76.75歳	最低	43歳	最高	89歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	池田医院 上田歯科医院
---------	-------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

畑の広がる小さな集落の中、民家と馴染んで、ホームは佇んでいる。建築業を営んでいた運営者は、「地域の高齢者の役に立ちたい」という思いから、民家を改装しホームを立ち上げられた。入居者・家族の負担が少なくてすむようにと、ホーム家賃が無料である事や、一日の食材費が400円と格安に設定されている。自給自足している新鮮な旬の畑の作物は、食卓を賑わせ、入居者と共に味わい深く食されている。又、運営者、職員の意思疎通が良く、入居者の笑顔が明るい。

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の改善項目については、職員会議で報告・検討され改善に繋がっている。感染症対策マニュアル等は、玄関に掲示してあり、大きな字の見やすい時計がリビングに掛けてあるなど、ほぼ改善されているが、ホーム機能の地域への還元の際は、まだ及んでいない。近隣小中学校の総合学習、体験学習などを受け入れなどに期待したい。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価は、職員会議で全員で話し合わせ、日頃のケアの点検とするなど、評価の意義が管理者より、伝えられている。改善には意欲を持って取り組んでいる。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議は2ヶ月に1回行われている。会議は、入居者状況、活動報告など、議題に沿った質疑応答がなされている。まだ参加メンバーに地域の広がり少なく、自治会、老人会、婦人会、子ども会等視野に入れ、参加してもらえるような積極的な働きかけに期待する。自己評価の内容を説明する事、外部評価を公表する事など、一体的に活かしていく相乗効果に期待したい。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	地域柄や、ご家族の事情もあるかもしれないが、声かけても関わりの薄い事にあきらめず、入居者の代弁者としての役割も意識し、ご家族とのパイプ役として、よりよい関係作りの取り組みに期待する。毎月の請求時文書に、入居者の近況報告をしたため、笑顔の写真を添える、お便りに「ご相談、ご要望などいつでもお気軽にどうぞ」といった一文をいれる等、ご家族の意見の表出の取り組みや、出された意見には対応状況を便りなどで報告する事にも期待する。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目	地域のボランティアによるお菓子作りは、入居者も共に楽しみにされている。消防署立会いの下、近隣住民の協力もある避難訓練が行われている。今後さらに、地域住民の一員として町会活動への参加等、より地域に根ざした、地域で必要とされる活動や役割を担っていく努力が望まれる。

2. 評価結果(詳細)

( 部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「みんなで、一緒に、ゆっくり楽しく」というわかりやすい言葉の理念はそのまま、制度改正により求められている、地域密着型サービスとしての役割を目指した内容が盛り込まれていない。		これまでの理念に加えて、地域密着型サービスの意義を職員全員で確認し、「地域のなかでその人らしく生活する事を支えるケア」の具体的なイメージを持った内容を盛り込む事が望まれる。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念は玄関リビングに掲げられ、職員は、日々の申し送りの時、職員会議の時などに、ケアの振り返りとして、唱和されている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の祭り等、行事への参加は積極的に行われている。定期的な地域のボランティアによるおやつ作りもある。避難訓練には運営者の近親者の協力がある。しかし、事業所と地域の人々が支えあうような双方向関係にまでは至っていない。		共に暮らす地域住民の一員として、町会への加入なども視野に入れ、事業所と近隣地域の人々が支えあうような双方向関係について、情報を集め、参加するなど接点を持つ努力に期待したい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価の意義は管理者より職員へ伝えられ、自己評価は、職員会議のとき職員全員で話し合われた。前回の評価の結果は、職員会議で報告され、検討の結果ほぼ改善されていた。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議では、事業所の活動内容・利用者状況等の報告がなされ、参加者からの質疑応答がある。会議では自己評価の内容の説明や、外部評価の結果の公表には至っていない。		年1回の外部評価を高めるためにも、会議の中で自己評価、外部評価を報告し、改善へのモニター役になってもらうなど、評価と推進会議を一体的に活かして行く事の相乗効果に期待する。

グループホーム こすもす

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	書類上のことや、制度的なことなど電話で問い合わせたり、役場に出向く事はあるが、現場や入居者の課題解決の為の考え方や実態の共有までには至っていない。		役場窓口に対して事業所の実情やケアの取り組みを折に触れ伝え、積極的に実情を伝え、協働していくことが望まれる。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	季刊の便りには、行事の案内、ホームでの活動状況、お知らせなどが載せられ、家族に報告されている。ご家族面会時には、その都度状況報告などがされている。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	声かけはするが、なかなかご家族の来訪が少なく、意見が出にくい状況にある。		いろいろな地域の事情、ご家族の事情等ある中でも、ご家族の関心が薄いとあきらめるのではなく、何か接点がないものかと、粘り強く、積極的に、ご家族、入居者との代弁者・パイプ役となるような努力に期待する。
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の移動は最小限に食い止める努力がなされている。新人の入居者への関わりは、安易な馴れ合いにならないよう、それぞれを理解し、見守りながら、馴染んでいくような関わりの支援がなされている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	運営者、管理者は、職員育成に理解があり、それぞれの力量に応じ必要な研修が奨励されている。受講後は職員会議などで報告し、皆に周知されている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	長崎県グループホーム連絡協議会に加入し、研修、親睦会等で交流し、研鑽に励んでいる。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>ご本人、ご家族に見学に来ていただき、ホームの雰囲気など見てもらっている。面談し、入居後、その方が馴染みやすく調整を行っている。入居後しばらく馴染むまでは職員の見守りや、観察を注意深く行い、必要に応じ、ご家族に来ていただくなど安心の支援に繋げている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>入居者と共に柿むきをし、虫がつかないように湯通しすることや、1週間はもむ事など、昔ながらの暮らしの知恵や、要領などを教えてもらいながら、干し柿作りに取り組んでおられた。又、畑作りなど教えてもらう事も多い。</p>		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>ご本人がどうしたいのか、どういう思いでいられるのかの把握には、居室にお一人になられた時や、入浴時等リラックスされている時に聞き置きしている。</p>		<p>聞き置きした思いや意向は、素早くメモしておくなど、後にアセスメントに書き貯めるなど、記録に残しケアプランに反映できるよう工夫が望まれる。</p>
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>日頃の関わりの中でご本人の思いや要望を聞いたりしたことを、職員会議で出し合いながら、その人らしく暮らせるように介護計画が作成される。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>設定した期間、介護計画の書き換え時に見直しが行われている。入居者の状態変化の折にも、実情に応じて新たな介護計画が作成されている。</p>		

グループホーム こすもす

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	併設事業所のデイサービスとの協働で、花見やバーベキューなどの行事、徘徊時の見守り、連絡などの連携がなされている。又、芋ほり、畑作りの支援がある。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	毎日のバイタルチェックなどにより健康上の変化が見られたときは、ナース対応の元、それぞれに応じた医療機関にて対処され、家族へ連絡される。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	ご家族の希望で終末の看取りがなされ、重度化への対応については、ご家族とも話し合い同意書を頂いている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	脱衣所には、それぞれの着替えがおいてあり、女性が入浴される時は、男性の急な入室がないよう職員が見守り、付き添いながら内鍵の配慮がある。又、個人記録などは、事務室で記録される。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	徘徊傾向の入居者についても、外出は察知しながら見守っており、玄関ポーチに腰掛けて外を眺めている事などにさりげない支援がある。		

グループホーム こすもす

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	自家栽培の旬の食材がふんだんに取り入れられた食卓には、職員も共につき、楽しい会話が飛び交い賑やかである。職員はさりげない様子で見守り、時には促すなど、配慮されている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日は週3回と決まっているが、希望に応じ毎日の夜間の支援もある。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	洗濯物干し、たたみ、干し柿づくりの皮むき、水撒き、台風の後の掃除、後片付け、施錠係など、それぞれに応じた支援がなされている。又、季節に応じた行事が企画され楽しみの支援に繋げている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	買い物、散歩等、花見、畑作り、芋ほり他、ドライブなどの支援がある。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	鍵かけを自らの役割とされている入居者が、朝7時に開け、夕方4時にはかけておられるのを見守り、支援している。又、日中、鍵はかけていない。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署の協力を仰ぎながら、年1回初期消火、通報、避難訓練を含んだ総合訓練が行われ、近隣住民の参加もある。消火器や自動通報装置などの設備点検は定期的に行われている。		

グループホーム こすもす

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	自家栽培の旬の食材がふんだんに取り入れられ、栄養のバランスにも配慮がある。偏食傾向の方のみ摂取量などを個人記録に記載している。10時、15時のおやつ のとき、3食後のお茶などの摂取量で水分の総量が把握されている。夜間は各居室にペットボトルが用意される。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	食堂の窓は広く明るい。食事作りや家事に立ち働く姿が目に入り、営みの活気が伝わってくる。又、見やすい字の大きな掛け時計、大きな字の暦は見当識に配慮されており、馴染みの本棚、テレビが家庭的である。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	筆筒、時計、暦が用意され、個人のそれまで使っていた趣味のパソコンの持ち込みがあり入居者は楽しんでいる。神棚等も供えられ、信仰の静かな支援もある。		